

令和7年度 熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科  
自己推薦型選抜 総合問題 解答例

問題 1

- 問 1 (A) 大衆  
(B) 急激  
(C) 到達  
(D) 規範  
(E) 需要  
(F) 指標
- 問 2 この町に住んでいる中学生は2年の秋ぐらいから学習塾に通うのが当たり前であるから、自分もそれぐらいの時期から学習塾に通うことを普通と感じるということ。(74字)
- 問 3 最終学歴が大卒の群は非大卒の群と比べて父大卒割合が高いという傾向。(32字)

問題 2

- 問 1 このように定義される公平性は、全員が同じ結果を得るべきであるということの意味せず、すべての生徒に同じ教材を教えたり、同じ資源を提供したりするということもまた意味しない。
- 問 2 capacity
- 問 3 education
- 問 4 ウ
- 問 5 (従って、) 社会は、あまり恵まれていない個々の人々の成人教育への参加を増やす必要がある。

問題 3

- 問 1 3.0% (計算式:  $(325 \times 0.123) \div (2623 \times 0.502)$ )
- 問 2 父親の学歴状況が高くなるほど、等価世帯収入の水準が中央値以上の割合が増えるという関係にある。(46字)
- 問 3 等価世帯収入の水準が高いほど子供の学力を理由として高校までの進学を希望する世帯が増加するのに対して、それが低いほど経済的状況を理由として高校までの進学を希望する世帯が増加する。(88字)